

Page 18 - Chapter 1

Sentence 1

有一次在能看到喀山大教堂的露台餐厅，杜罗夫一边用力掰着面包搓成小球，一边讲述这些理论如何震撼了他的思想。

ある時、カザン大聖堂を見渡すテラスレストランで、パンを鋭い動きで千切りながら丸めて、ドゥーロフはこれらの理論がいかに彼の脳を爆発させたかを語った。

Sentence 2

他从积极心理学和希尔那里退缩，开始把人视为环境和自然选择的产物。

彼はポジティブ心理学とヒルから離れ、人々を環境と自然淘汰の産物として捉え始めた。

Sentence 3

如果给人一个选择，他会选择他想要的 结果将是这个选择应得的回报。

人に選択を与えれば、彼らは望むものを選ぶ そして結果はその選択に見合った報酬となる。

Sentence 4

是的，有一个问题是否应该让人们做选择。人们会被操纵所欺骗，做出非理性的选择。
はい、人々に選択を委ねるべきかという問題がある。人々は操作に惑わされ、非合理的に選択する。

Sentence 5

但操纵、营销洗脑和政治也是智力竞争的领域，而竞争过去是、现在仍然是杜罗夫的主要信条。
しかし、操作もマーケティングのゾンビ化も政治も、知的競争の場である そして競争はドゥーロフの重要な聖域だったし、今もそうだ。

Sentence 6

另一个通过宁堡获得的知识，在发生的一切中发挥了一定作用 关于人类行为的知识。
ニンブルグを通じて得たもう一つの知識で、で起こったすべてのこと何らかの役割を果たしたのは、人間の行動についてだった。

Sentence 7

有一次，我们沿着铺着地毯的楼梯从总部下楼，杜罗夫给我讲述了那个著名的猴子和电击实验。
ある時、カーペットが敷かれた階段を本部から下りながら、ドゥーロフは有名な猿と電気の実験を私に話してくれた。

Sentence 8

猴子被关在笼子里，定期有人给它们扔香蕉。但只要有谁拿了这些香蕉，整个群体就会被电击。很快，那些伸手拿香蕉的就会被同伴打。

猿たちは檻に入れられ、定期的にバナナを与えられた。しかし、誰かがこのバナナを取ると、グループは電気ショックを受けた。すぐに、バナナに手を伸ばす者は仲間に殴られるようになった。

Sentence 9

然后，老成员开始逐一被新来者替换，某个时刻电源被关闭了。但群体仍然自我调节，禁止新来者触碰香蕉。

その後、古参を一匹ずつ新参と入れ替え始め、ある時点で電気を切った。しかしそれでもグループは自己調整し、新参者がバナナに触れることを禁じた。

Sentence 10

最后，笼子里都是从未被电击过、甚至从未与被电击过的猴子交流过的灵长类动物　　但这个群体对触碰那渴望而安全的食物保持着神圣的恐惧。

最終的に、檻は電気ショックを受けたことがなく、受けた者とさえ交流したことのない靈長類で満たされた　　それでもこのグループは、望ましく安全な食べ物に触れることへの神聖な恐怖を保っていた。

Sentence 11

当我们穿过旋转门走到夜晚的涅瓦大街时，我问道：那你为什么告诉我这个？就是这样，思考这个实验让我更好地理解了人的本质，杜罗夫耸了耸肩。

回転ドアを抜けて夜のネフスキー通りに出たとき、私は尋ねた：「で、なぜこれを話してくれたんですか？」「まあ、この実験について考えることで、人間の本質をよりよく理解できるようになった」とドゥーロフは肩をすくめた。

Sentence 12

阿列克谢·鲁特科维奇给文理中学的学生们开设了一门心理分析专题课程，讲述心理如何影响语言和视觉创作。

アレクセイ・ルトケヴィチはギムナジウムの生徒たちに精神分析の特別コースを教え、精神がいかに言語的・視覚的創造性に影響を与えるかを語った。

Sentence 13

荣格、弗雷泽；从子宫期开始的人类大脑发育；如何确定心理类型。鲁特科维奇教学生们计算自己大脑的大小，然后补充说 克罗马农人的大脑容量更大，但脑沟更少。

ユング、フレイザー；子宮内期からの人間の脳の発達；心理タイプの判定方法。ルトケヴィチは生徒たちに自分の脳のサイズを計算することを教え、その後、クロマニヨン人の脳容量はさらに大きかったが、脳回は少なかったと付け加えた。

Sentence 14

鲁特科维奇引导杜罗夫阅读了智商测试发明者汉斯 艾森克的著作。

ルトケヴィチはドゥーロフを テストの発明者ハンス・アイゼンクの著作に導いた。

Sentence 15

艾森克受到阻挠，例如因为他声称黑人种族的空间和语言逻辑能力较差。

アイゼンクは、例えば黒人の空間的・言語的論理能力が劣っているという主張で妨害を受けた。

Sentence 16

让杜罗夫愤怒的是政治正确性，它不允许承认一个民族的人在某种活动中可能比另一个民族的人更成功或更不成功。

ドゥーロフは、ある民族の人々が別の民族よりも特定の活動でより成功したりしなかったりする可能性があることを認めない政治的正しさに激怒した。

Sentence 17

也是在那时，九年级时，他读了弗洛伊德的著作，后来在为
，他在心里向老师致敬。

その頃、一年生の時に彼はフロイトを読み、後に
の中で先生に一礼を送った。

选择颜色和标志时

の色とロゴを選ぶとき、心

Sentence 18

凸起的、女性化的字母，用普通的无衬线字体排版。
上亮起的红色通知灯，杜罗夫没有模仿，第三种颜色黑色只与弹出通知窗口一起引入。
凸型で女性的な文字、普通のサンセリフ書体で組まれた。
で点灯する赤い通知ライトは、ドゥーロフはコピーせず、一番目の色である黒は、ポップアップ通知
ウィンドウとともにのみ導入された。

Sentence 19

当他选择中性色蓝色和灰色时，他回忆起那些课程：梅德尼科夫的一位艺术家朋友会来上课，
偶尔醉醺醺的，讲述拉斐尔、米开朗基罗、比例、光线。

彼が中立的な色青と灰色を選んでいたとき、メドニコフの友人の画家が時々酔っ払って
来て、ラファエロ、ミケランジェロ、プロポーション、光について話していた授業を思い出した
。

Sentence 20

每周一次他会带着全班去艾尔米塔什博物馆。

週に一度、彼はクラスをエルミタージュ美術館に連れて行った。

Sentence 21

简而言之，杜罗夫向那些渴望创作自由并乐于分享的人学习。然而，他们的教育理想是在一个不断升级的异见故事背景下绽放的——学校永远处于被迫害的状态。

要するに、ドゥーロフは創造の自由を渴望し、分かち合うことを愛する人々から学んでいた。しかし、彼らの教育的な特権は、螺旋状に展開する反体制の物語を背景に花開いていた——学校は永遠に迫害される立場にあった。

Sentence 22

当斯拉瓦·米里拉什维利被送到这所学校时，老师们还在想办法支付房租。在他们被从有跳舞醉汉俱乐部的文化宫赶出来后，米哈伊尔·米里拉什维利开始帮助支付新场地的租金。

スラヴァ・ミリラシュヴィリがこの学校に入学したとき、教師たちはまだどうにか家賃をやりくりしていた。踊る酔っ払いたちのいる文化会館から追い出された後、ミハイル・ミリラシュヴィリが新しい場所の家賃を助けることになった。

Sentence 23

但教育工作者与老虎机大王 其办公室设在一栋装甲豪宅中 的联盟并没有持续很久。
しかし、教育者たちと、装甲された邸宅にオフィスを構えるスロットマシンのオーナーとの同盟
は長続きしなかった。

Translator Notes

- Page 18 continues Chapter 1 with important formative influences on Durov
- Kazan Cathedral - major cathedral on Nevsky Prospekt in St. Petersburg
- The monkey experiment - famous thought experiment about social conditioning (note: this is actually an apocryphal story)
- Jung - Carl Jung, Swiss psychiatrist and psychoanalyst
- Frazer - James George Frazer, Scottish social anthropologist (*The Golden Bough*)
- Hans Eysenck - controversial British psychologist known for IQ research
- Freud - Sigmund Freud, founder of psychoanalysis
- VKontakte design - blue and gray colors chosen based on psychological principles
- Hermitage - one of world's largest and oldest museums, located in St. Petersburg
- One-armed bandits - slang for slot machines, referring to Mirilashvili's gambling business